

安全上・機能上の注意

警告



ガラス球内部の圧力が高いため、落としたり、物をつつけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。破損した場合、ガラス破片が飛散しケガの原因となります。



紙や布でおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。火災や器具過熱の原因となります。



器具、ソケットに適合した種類とワット数の電球を必ず使用してください。破損によるケガや器具過熱などの原因となります。



点灯方向に指定のある電球は、必ず指定方向で使用してください。器具過熱や破損によるケガの原因となります。



取付け、取外しや器具清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

注意

- 点灯中や消灯後しばらくは、電球が熱いので手や肌などをふれないでください。ヤケドの原因となることがあります。(交換や清掃の際は十分に冷えてから行ってください。)



素手や汚れた手袋でふれないでください。汚れたまま点灯すると、ガラス球が劣化して破損し、火災、ケガ、の原因となることがあります。



保護シールド(前面ガラス)のついた器具で使用してください。破損した場合、ガラス破片が飛散し、火災、ヤケド、ケガの原因となることがあります。



幼児の手の届くところに置かないでください。飲み込んで窒息したり、割ってケガの原因となることがあります。

- 雨や水滴のかかる状態や、湿度の高いところで使用しないでください。絶縁不良、破損、落下によるケガの原因となることがあります。

- 塗料などを塗らないでください。電球が過熱し、破損による火災やケガの原因となることがあります。

- 引火する危険性のある雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、粉塵など)で使用しないでください。火災や爆発の原因となることがあります。

- ソケットに確実に取付けてください。取付けが不完全ですと、落下、破損によるケガ、接触不良による過熱、発煙の原因となることがあります。

- 表示された電圧で使用してください。表示された電圧より高い電圧でご使用の場合は、口金外れや器具過熱、破損、落下によるケガの原因となることがあります。

- 振動や衝撃を与えないでください。破損や落下によるケガの原因となることがあります。

- 酸などの腐食性の雰囲気のあるところでは、一般器具による電球の使用はしないでください。漏電、火災、落下、破損によるケガの原因となることがあります。

- 粉塵の多いところでは、一般器具による電球の使用はしないでください。火災、爆発、器具過熱の原因となることがあります。

- 集魚灯には、集魚灯用ハロゲン電球を使用してください。他用途のハロゲン電球を集魚灯に使用すると、破損によるケガの原因となることがあります。

- 点灯中の電球を間近で見つめないでください。目が痛くなったり、視力障害の原因となることがあります。

- 直列点灯では使用しないでください。破損によるケガの原因となることがあります。

- ソケットの接点部が損傷していないか等を点検してください。過熱の原因となることがあります。

- 取付け、取外しのときには、口金の種類(ネジ込み、差し込み等があります。)を確認してください。誤った着脱をすると破損によるケガの原因となることがあります。

- 定格寿命を経過した電球は、交換をおすすめします。低電圧(調光を含む)でご使用の場合も、定格寿命を経過した電球は交換をおすすめします。寿命を超えたまま使用すると破損によるケガや火災の原因となることがあります。

- 電球の包装用カバーは必ず取外してから器具に取付けてください。そのまま取付けると火災、ヤケド、破損によるケガの原因となることがあります。

機能上の注意

- 両口金形電球の接点(口金部)に加わる圧力は、20~35N(銀接点の場合は10~35N)の範囲にしてください。

- 寿命末期にまれに起こる破損のおそれを少なくするため、器具には必ず指定のヒューズを取付けてください。

- 許容された電球以外は、封止部の温度が350℃を超えないように設計してください。

- 点灯中の管壁温度が250℃~900℃の範囲を超えないように設計してください。

- 反射鏡内面には直接素手でふれないでください。汚れたまま点灯すると劣化して短寿命や光束低下の原因となることがあります。

- 電球に接近して、品物や遮蔽物をおかないでください。(光と共に熱が多く出ているので)品物などが過熱したり、火災の原因となることがあります。

- 使用済みの電球は割らずに廃棄してください。電球を割るとガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。